

# 令和6年度登録販売者試験における不適正問題の 取扱いについて

## 対象となる問題

問44

一般用検査薬の添付文書に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア その検査結果のみで確定診断はできないので、判定が陽性であれば速やかに医師の診断を受ける旨が記載されている。

イ その検査結果が陰性であっても何らかの症状がある場合は、再検査するか又は医師に相談する旨等が記載されている。

ウ 使用目的及び使用方法については、容器もしくは被包に記載されていれば、添付文書に記載されていなくてもよい。

エ 人体に直接使用しない検査薬においても、添加物として配合されている成分の記載が必要である。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

## 採点上の取扱い

問44については不適正な問題であることから、受験者全員を正解として加点する。

## 理由

ウの記述について、「登録販売者試験問題作成に関する手引き」上、正誤の判断が困難であるため。

## 対象となる問題

問 6 9

小児の疳<sup>かん</sup>を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤（小児鎮静薬）及びその配合生薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア 柴胡加竜骨牡蛎湯<sup>さいこかりゅうこつぼれいとう</sup>を小児の夜泣きに用いる場合は、症状の原因となる体質の改善を主眼としているため、症状の改善がみられるまで比較的長期間（1ヶ月位）継続して服用する必要がある。

イ カンゾウを含有する漢方処方製剤を乳幼児に使用する場合、体格の個人差から体重当たりのグリチルリチン酸の摂取量が多くなることがあるので注意する必要がある。

ウ 小建中湯<sup>しょうけんちゅうとう</sup>は、体力中等度をめやすとして幅広く用いることができ、やや消化器が弱く、神経がたかぶり、怒りやすい、イライラなどがあるものの小児虚弱体質、慢性胃腸炎、腹痛、神経質、小児夜尿症、夜なきに適すとされる。

エ ゴオウ、ジャコウは、いずれも動物の分泌物を基原とする生薬で、緊張や興奮を鎮め、また、血液の循環を促す作用等を期待して配合される。

1 (ア、イ)      2 (ア、ウ)      3 (イ、エ)      4 (ウ、エ)

## 採点上の取扱い

問 6 9 については不適正な問題であることから、受験者全員を正解として加点する。

## 理由

エの記述について「登録販売者試験問題作成に関する手引き」上、正誤の判断が困難であるため。